

冬の学習会
読むこと（文学）部会
実践発表

札幌市立大倉山小学校

黒崎 健治

物語の授業は困る



物語の授業は困る

子どもたちから生まれた問いをもとに展開

◎子どもは盛り上がる

△身に付けさせたい力の習得

物語の授業は困る

教師が教えたい内容についての問いで展開

○身に付けさせたい力の習得

△子どもが楽しくない

物語の授業は困る

子どもたちから問いを生み、
身に付けさせたい力をきちんと習得させ、
楽しい国語の授業がしたい…！



「**逆向き設計**」の考え方を基に

評価を明確にし、**問い**と一体的に授業を作れば、

ねらいに合った**言語活動**が見えてくる！



「逆向き設計」って？



「逆向き設計」って？

教育者G. WigginsとJ. McTigheが提唱した

カリキュラム設計論

【参考】
理解をもたらすカリキュラム設計
(ウィギンズ&マクタイ着 西岡加奈恵訳)



「逆向き設計」って？

- ①求められている結果（目標）の設定
- ②承認される証拠（評価方法）の決定
- ③学習経験と指導の計画

の順にカリキュラム設計を行う



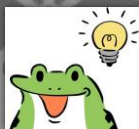
「逆向き設計」を基に、問いと評価の一体化を図る！

「本時で目指す子どもの姿」を具体化し、

逆算して授業を作る



「逆向き設計」を基にして 物語の授業を作ってみた



「逆向き設計」を基にして物語の授業を作ってみた

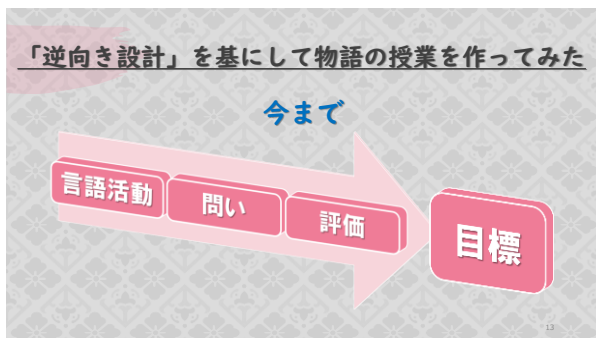
今まで

単元の目標に迫るために

- ・言語活動は？ ・相手意識や目的意識は？
- ・必要な教師の関わりは？ ・どう評価？
- ・出してほしい問いは？

と考えながら単元構成





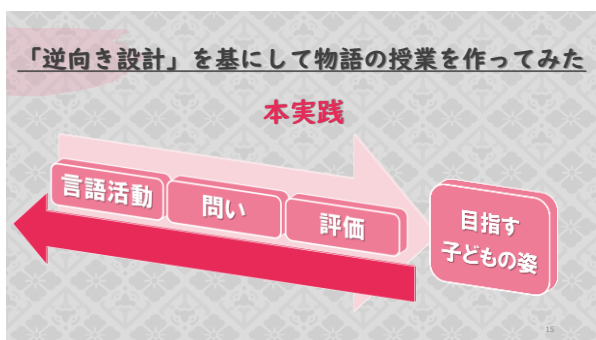
「逆向き設計」を基にして物語の授業を作ってみた

本実践

単元の目標に迫るために

- ①「本時で目指す子どもの姿」の具体的な設定
- ②「本時で目指す子どもの姿」を資質・能力ベースで捉え、評価の基準と方法を明確化
- ③「本時で目指す子どもの姿」を引き出す問いと言語活動の設定

という流れで単元構成



「逆向き設計」を基にして物語の授業を作ってみた

物語の全単元を捉え、考えのこぼれを補完する『たずねびと』の展開と評価の計画

単元の目標	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①登場人物の心や感情のありかを探る	登場人物の心や感情のありかを探る	登場人物の心や感情のありかを探る	登場人物の心や感情のありかを探る
②登場人物の心や感情のありかを探る	登場人物の心や感情のありかを探る	登場人物の心や感情のありかを探る	登場人物の心や感情のありかを探る

表に可視化

「逆向き設計」を基にして『たずねびと』をやってみた

5年『たずねびと』

今を生きる小学5年生の綾
戦争について知っているようで知らない綾

↓

子どもたちと同じ境遇
…追体験しながら読めるよき

5年『たずねびと』

実在する舞台「広島市」とその歴史
戦争についての間接的な描写
↓
調べたり、試したりできる余地
…事実をもとに深められるよさ

5年『たずねびと』

綾の心内語、比喻や反復、情景描写
↓
優れた表現に溢れている
…表現の工夫が読み手に与える効果を感じられるよさ

①「本時で目指す子どもの姿」の具体的な設定

物語の全体像を捉え、考えのこぼれを見えおもう『たずねびと』(本時間) 階梯と評価の計画	
読者の役割	①登場人物の心情の読みと理解のこぼれを見えおもう【目(1) 2】
思考力、判断力、表現力等	登場人物の心情の読みと理解のこぼれを見えおもう【目(1) 2】
知識・技能	①登場人物の心情の読みと理解のこぼれを見えおもう【目(1) 2】
態度	①登場人物の心情の読みと理解のこぼれを見えおもう【目(1) 2】
学習内容	①登場人物の心情の読みと理解のこぼれを見えおもう【目(1) 2】
評価と方法	①登場人物の心情の読みと理解のこぼれを見えおもう【目(1) 2】
評価基準	①登場人物の心情の読みと理解のこぼれを見えおもう【目(1) 2】

①「本時で目指す子どもの姿」の具体的な設定

「自分なりの視点をもって、叙述を基に物語の全体像を具体的に捉えることができる」

例)
綾の変化のきっかけはおばあさんだと思う。
なぜなら「だけどあのおばあさんが言っていたように～」という文から、おばあさんのおかげで綾が生き方を考え、前向きになったことが分かるから。

②「本時で目指す子どもの姿」を資質・能力ベースで捉え、評価と方法を明確化

物語の全体像を捉え、考えのこぼれを見えおもう『たずねびと』(本時間) 階梯と評価の計画	
読者の役割	①登場人物の心情の読みと理解のこぼれを見えおもう【目(1) 2】
思考力、判断力、表現力等	登場人物の心情の読みと理解のこぼれを見えおもう【目(1) 2】
知識・技能	①登場人物の心情の読みと理解のこぼれを見えおもう【目(1) 2】
態度	①登場人物の心情の読みと理解のこぼれを見えおもう【目(1) 2】
学習内容	①登場人物の心情の読みと理解のこぼれを見えおもう【目(1) 2】
評価と方法	①登場人物の心情の読みと理解のこぼれを見えおもう【目(1) 2】
評価基準	①登場人物の心情の読みと理解のこぼれを見えおもう【目(1) 2】

②「本時で目指す子どもの姿」を資質・能力ベースで捉え、評価の基準と方法を明確化

【知識・技能】なら…
『比喻や反復の表現の工夫に気付く』



例)
優れた表現に着目した子どもの発言から考える場面を設定
・わたしの目に飛びこんできたってどんな感じ？
・最初の不思議と後半の不思議は違うの？
…シートの記述や発言から見取る

②「本時で目指す子どもの姿」を資質・能力ベースで捉え、評価の基準と方法を明確化

【思考・判断・表現】なら…
『人物像や物語などの全体像を具体的に想像したり表現の効果を考えたりする』



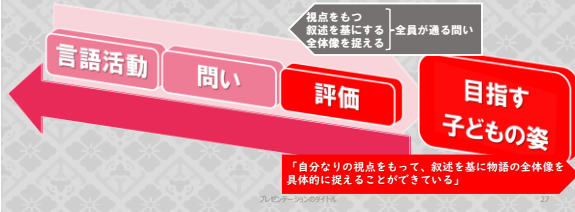
例)

・「〇〇のおかげで…」 「〇〇あっての△△」など、叙述と叙述、視点と視点をつなげて考える姿をシートの記述や発言から見取る

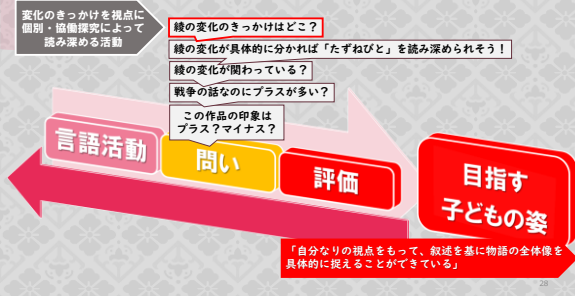
③「本時で目指す子どもの姿」を引き出す問いと、言語活動の設定

物語の全体像を捉え、考えたことを伝え合おう『たずねびと』(60分間) 指導と評価の計画			
ねらい(目標)	知識・技能 読者の視点から、登場人物の行動や心理の動きを読み取ることができるようになる【意(1)1-2】	思考・判断・表現 登場人物の行動や心理の動きを読み取ることから、登場人物の考えや感情を読み取ることができる【意(1)1-2】	態度・情動 読者の視点から、登場人物の行動や心理の動きを読み取ることから、登場人物の考えや感情を読み取ることができる【意(1)1-2】
評価基準	知識・技能 登場人物の行動や心理の動きを読み取ることができる【意(1)1-2】	思考・判断・表現 登場人物の行動や心理の動きを読み取ることから、登場人物の考えや感情を読み取ることができる【意(1)1-2】	態度・情動 読者の視点から、登場人物の行動や心理の動きを読み取ることから、登場人物の考えや感情を読み取ることができる【意(1)1-2】
評価方法	1. 読者の視点から、登場人物の行動や心理の動きを読み取ることができる【意(1)1-2】	2. 登場人物の行動や心理の動きを読み取ることから、登場人物の考えや感情を読み取ることができる【意(1)1-2】	3. 読者の視点から、登場人物の行動や心理の動きを読み取ることから、登場人物の考えや感情を読み取ることができる【意(1)1-2】
評価と活用	1. 読者の視点から、登場人物の行動や心理の動きを読み取ることができる【意(1)1-2】	2. 登場人物の行動や心理の動きを読み取ることから、登場人物の考えや感情を読み取ることができる【意(1)1-2】	3. 読者の視点から、登場人物の行動や心理の動きを読み取ることから、登場人物の考えや感情を読み取ることができる【意(1)1-2】

③「本時で目指す子どもの姿」を引き出す問いと、言語活動の設定



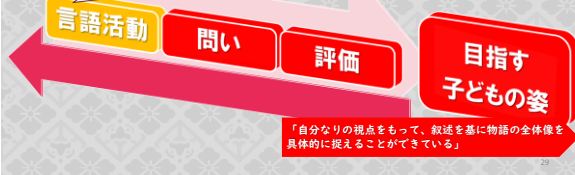
③「本時で目指す子どもの姿」を引き出す問いと、言語活動の設定



③「本時で目指す子どもの姿」を引き出す問いと、言語活動の設定

違う視点の仲間と考えを交流したい(線をつながる)
同じ視点の仲間と考えを共有したい(点で深める)
最後だけは△…対話の積み重ねが必要
⇒毎時間「たずねびと談話」

- ・全文シート
- ・つながりに気付かせる発問



実際の授業のようす

線の変化のきっかけはどこ？
 線がどこで変化しているのか分かれれば、プラスの理由がはっきりしそう！
 線はずっとプラスというわけではないな
 線から見てプラスなんだよ
 戦争の話なのにプラスが多い？
 この作品の印象はプラス？マイナス？

言語活動 → 問い → 評価 → 目指す子どもの姿

「自分なりの視点をもって、叙述を基に物語の全体像を具体的に捉えることができています」

実際の授業のようす

見やすく書きやすい
全文シートがほしい

違う視点の仲間と考えを交流したい（線をつながる）
 同じ視点の仲間と考えを共有したい（点で深める）
 毎時間「たずねびと談議」◎
 一人で書きたい⇒話し合いたい

「どれもつながっている」という気付きをもとに

言語活動 → 問い → 評価 → 目指す子どもの姿

「自分なりの視点をもって、叙述を基に物語の全体像を具体的に捉えることができています」

実際の授業のようす

線が変わったきっかけはどこ？

川、ジャコブソン、行儀の出来、橋、犬、金魚、おひつ、夢、おひつ

たずねびと 杉本祥


一つ一つは面白い、つながりがある、一気に少ぼつ

実際の授業のようす

問いと評価が一体的になって、
 子どもが身に付けるべき力が明確になり、
 教師の関わりが変わった！


実践を終えて…成果

- ・ 問いを生む手立てが明確
⇒ 子どもの思考の流れに沿った問いに
- ・ 「本時で目指す子どもの姿」を達成
- ・ 積み重ねた言語活動「たずねびと談議」によって対話に必要な語彙を獲得



実践を終えて…課題

- ・ 「本時で目指す子どもの姿」
= 「自分なりの視点をもって、叙述を基に物語の全体像を具体的に捉えることができています」の不足感
⇒ △つながりに気付く ○変化の中身に気付く
- ・ 教師の関わり（発問・板書・教具等）の目的に適した具体の検討



改善案として

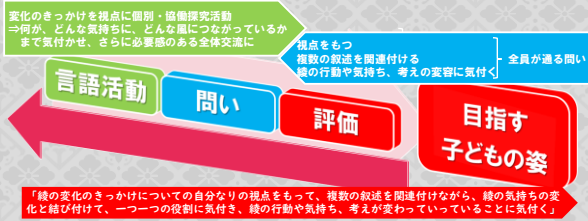
「本時で目指す子どもの姿」

＝「自分なりの視点をもって、**叙述**を基に物語の**全体像**を具体的に捉えることができる」

「**綾の変化のきっかけ**についての自分なりの視点をもって、複数の叙述を関連付けながら、綾の気持ちの変化と結び付けて、一つ一つの役割に気付き、綾の行動や気持ち、考えが変わっていったことに気付く」

37

再構成してみました

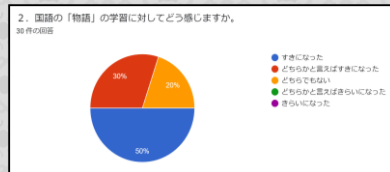


38

最後に



授業後の子どもたちの声



授業後の子どもたちの声

「もう終わり？」 「楽しかった！」
「もっと先生も入ってきていいんだよ。」

貴重な15分をいただきました。

ありがとうございました。